

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 知床国立公園

所在地: 北海道斜里郡斜里町 網走南部森林管理署国有林1322林班は小班付近
 土壌種名: 適潤性褐色森林土
 調査実施日: 2023年8月22日
 機関名: 株式会社三共コンサルタント
 報告者名: 佐藤 創、福島 玲依

個体番号 (毎木調査番号)	N87	N88	N3	N11	N12	E34	E27	E31	E33	E19	S49	S50	S51	S60	S61	W73	W72	W74	W57	W69
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	アカトドマツ	アカトドマツ	ミズナラ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンゾウ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンゾウ	ダケカンゾウ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンゾウ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ
樹種名 (学名)	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>
相対的樹高	Null					Null	Null						+	Null	Null	+	Null	+	-	
樹高 (m)		14.1	16.6	17.5	15.4			16.8	15.5	14.0	17.7	17.9	16.4			16.9		17.9	15.3	15.5
胸高直径 (cm)	2013年調査で枯死を 確認	29.4	85.9	49.2	30.9	2013年調査で枯死を 確認	2022年調査で枯死を 確認	67.5	32.4	34.2	41.7	59.5	63.0	2014年調査で枯死を 確認	2015年調査で枯死を 確認	39.0	2017年調査で枯死を 確認	49.4	40.4	29.3
樹勢	1	1							1										1	
樹形	1	1							1											
枝の生長量	1	1							1									1		
梢端の枯損	1	1							1									1	2	
落葉率									1									1		1
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				
枯死前年の樹高 (m)	13.8					17.3	16.8							18.5	17.6		17.5			
直径 (cm)	22.1					46.9	47.0							58.7	45.0		32.4			
調査年度	2012					2012	2021							2013	2015		2016			

樹木衰退の原因推定 N88: ツルアジサイの巻き付きあり、梢端に若干の枯損が認められる。
 E33: 横枝がやや少なく、凍裂痕が認められる。

備考 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 支笏洞爺国立公園

所在地: 北海道札幌市南区 定山溪トンネル付近2090林班ほ小班付近

土壌種名: 暗色系褐色森林土

調査実施日: 2023年8月25日

機関名: 株式会社三共コンサルタンツ

報告者名: 佐藤 創、福島 玲依

個体番号	S122	S123	S124	E114	E112	E116	W125	W126	W127	W129	W131	N107	N105	N106	N553	N554	S556	E555
(毎木調査番号)							J308			G857								
方位 (E, W, S, or N)	S	S	S	E	E	E	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	S	E
樹種名 (和名)	ダケカンパ	ナナカマド	キノダ	ダケカンパ	イタヤカエデ	エノマツ	ダケカンパ	ナナカマド	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	イタヤカエデ	ダケカンパ	イタヤカエデ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ
樹種名 (学名)	<i>Betula ermani</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Phellodendron amurense</i> var. <i>amurense</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Picea jezoensis</i> var. <i>jezoensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>
相対的樹高		-	Null	+				Null				-		Null				
樹高 (m)	22.0	17.3		23.8	19.2	23.9	23.8		20.0	22.6	22.9	17.7	17.9		20.8	23.8	22.7	22.3
胸高直径 (cm)	40.1	36.6	21.8	61.5	37.0	57.3	74.0	20.0	43.3	38.9	32.9	44.2	25.9	21.8	69.9	36.5	59.8	44.0
樹勢		1			1			2004年調査で枯死を確認						2013年調査で枯死を確認	1			1
樹形	1	1										1						
枝の生長量															1			1
梢端の枯損	1			1			1								1			
落葉率							1								1			
葉の変形度																		
葉の大きさ																		
葉色																		
葉の障害状況					2							2			1			
ダメージクラス																		
枯死前年の樹高 (m)			20.8					15.2						15.5				
直径 (cm)			35.0					29.8						41.0				
調査年度			2017					2003						2012				

樹木衰退の原因推定

S123: 枯損枝付近に集中的な萌芽の発生がみられる。

E112: 樹形が北西側に傾き、葉量が虫食いにより少ない。

N107: 葉量が虫食いにより少ない。

N553: 樹幹にツタウルシの巻き付きがある、樹皮剥がれが見られるが、剥がれ箇所周囲に萌芽枝が伸張り回復傾向にある。やや落葉率が高い。

E555: 樹形が南東側に傾き、やや枝が少ない。

備考

灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)

枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

※W125は、ラベルが破損しているため新たに「J308」のナンバーテープを設置した。

※W129は、ラベルが消失していたため新たに「G857」のナンバーテープを貼付した。

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 磐梯朝日国立公園

所在地: 新潟県村上三面 三面山国有林1163林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2021年9月30日

機関名: 新潟県 県民生活・環境部 環境対策課、新潟県森林研究所、新潟県保健環境科学研究所

報告者名: 田村 優、岩井 淳治、伊藤 幸介、田中 樹己、家合 浩明、中野 俊宏、猪又 義広

2022年8月に発生した豪雨災害にともなう道路不通のため、
2023年度の調査は前年に引き続き実施されなかった。
本表は、2021年度調査の結果。

個体番号 (毎木調査番号)	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W2	W3	W3-2	W4	W5	
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	
樹種名 (和名)	ナナ																					
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>																					
相対的樹高			-				-	+		-		-	-			-	-	Null	-	+		
樹高 (m)	32.0	31.1	26.0	31.1	29.5	35.1	26.7	32.5	30.7	30.7	25.8	24.9	20.7	28.6	24.5	25.3	23.7			31.1	33.6	30.1
胸高直径 (cm)	95.0	71.5	48.1	55.7	70.2	63.0	43.4	84.3	74.9	70.6	76.0	47.8	46.9	42.2	68.5	62.1	59.2			51.8	85.2	67.7
樹勢											2		2		1		2			2		
樹形											1		2				2			2		
枝の生長量											1		1				1			1		
梢端の枯損											2		2				2			2		
落葉率											2											
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色											2											
葉の障害状況											1											
ダメージクラス											3											
枯死前年の樹高 (m)																					14.1	
直径 (cm)																					54.4	
調査年度																					2018	

樹木衰退の原因推定 S1: 虫害(キクイムシ疑い)による衰弱
S3: フジ巻き付き
S5: 枝折れ

備考 W3-2: W3の枯死に伴い2020年に代替木として追加
灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 日光国立公園

所在地: 栃木県日光市狸窪

土壌種名: 褐色森林土・日光2統

調査実施日: 2023年9月25日

機関名: 栃木県林業センター

報告者名: 杉本 絵里子、米田 舜、丸山 友行

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
(毎木調査番号)	266 ↓	302 ↓	281 ↓	303	304	281 ↓	360	295	337 ↓	299 ↓	288 ↓	289 ↓	338	291	334 ↓	339	307 ↓	308	309	357	311	285 ↓
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	マルバアオダモ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	オオイタヤメイゲツ	ブナ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	マルバアオダモ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ
樹種名 (学名)	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Fagus japonica</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer shirasawanum</i>					
相対的樹高	Null	-	+	-	+	+	-	+	Null	+	-	+	+	+	+	-	+	-	Null	+	Null	+
樹高 (m)	12.6	20.3	32.8	13.9	18.2	31.9	17.3	31.7	23.0	24.7	18.5	23.2	24.0	24.6	25.6	12.8	22.9	15.2	22.4	17.1	13.9	21.6
胸高直径 (cm)	16.7	28.3	68.2	20.0	32.4	87.6	20.7	57.3	31.8	45.2	21.0	35.0	38.2	31.8	31.8	36.0	45.4	20.0	112.4	25.3	28.9	33.9
樹勢	2020年調査で枯死を確認	1	1	1	1	1	1	1	2006年調査で枯死を確認							1			2006年調査で枯死を確認	1		2017年調査で枯死を確認
樹形																						
枝の生長量																						
梢端の枯損																						
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						
枯死前年の樹高 (m)	13.6								16.7										22.4		13.9	
直径 (cm)	19.3								57.3										112.4		28.9	
調査年度	2019								2005										2005		2016	

樹木衰退の原因推定

301, 303: 上木の被圧により、葉・枝の生長阻害
 6, 295: 片側からの被圧による樹形の乱れ
 9, 308: 過密化、上木の被圧による枝の生長阻害
 339: 2本立ちのうち1本が古い幹折れにより樹勢衰退(きのこ発生)
 357: 表土の流出により、根の露出・樹形の偏り

備考

297, 309(2006年枯死)の代替木として337(旧298), 308を追加(2006年)
 311(2017年枯死)の代替木として285を追加(2019年)
 284(2020年枯死)の代替木として266を追加(2020年)
 2018年調査からアオダモ (*Fraxinus lanuginosa* f. *serata*) をマルバアオダモ (*Fraxinus sieboldiana*) に修正
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した
 357: 2023年調査からブナ (*Fagus crenata*) をイヌブナ (*Fagus japonica*) に修正
 8: 2023年調査からイタヤカエデ (*Acer pictum*) をオオイタヤメイゲツ (*Acer shirasawanum*) に修正

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 中部山岳国立公園

所在地: 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂外11 国有林139の林小班 美女平遊歩道付近

土壌種名: 湿性鉄型弱ポドゾル化土壌Pw(i)III

調査実施日: 2023年8月25日

機関名: 富山県農林水産総合技術センター森林研究所

報告者名: 大宮 徹

個体番号	1	2		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(毎木調査番号)	1	2	311	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
方位 (E, W, S, or N)	NW	NW	NW	E	NE	E	SW	SW	W	W	W	W	S
樹種名 (和名)	ブナ	ブナ	ブナ	ホオノキ	ホオノキ	ホオノキ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ホオノキ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia obovata</i>	<i>Magnolia obovata</i>	<i>Magnolia obovata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia obovata</i>					
相対的樹高	+	+	Null	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
樹高 (m)	32.0	26.9		23.5	25.6	25.0	26.8	21.9	27.0	26.8	33.2	29.4	11.5
胸高直径 (cm)	79.2	58.1		64.4	56.4	57.0	78.3	63.2	68.2	59.2	83.7	61.5	24.2
樹勢			2008年調査で枯死を確認	1		1		1					
樹形				2				1	2			1	
枝の生長量				1				1					
梢端の枯損				1				2					1
落葉率				1		1		1	1				
葉の変形度				1									
葉の大きさ									1				
葉色													
葉の障害状況				1				1			1		
ダメージクラス				1									

枯死前年の樹高 (m)			27.9										
直径 (cm)			65										
調査年度			2007										

樹木衰退の原因推定

3, 5, 7, 9, 10, 12: 少雨の影響が見られる。
 8: 周囲のブナに被圧されている、ヤドリギが見られる。
 ※8の胸高直径はつる込み。

備考

311(2008年枯死)の代替木として12(旧473)を追加(2008年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 吉野熊野国立公園

所在地: 奈良県上北山村 大台ヶ原山七つ池付近

土壌種名: 乾性褐色森林土

調査実施日: 2023年8月29日

機関名: 奈良県森林技術センター

報告者名: 井上 弘貴、久保 健、小島 靖

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
(毎木調査番号)	21	24	28	29	30	2	3	47	49	52	54	36	41	42	43	44	6	10	14	16	17
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ナナ	ナナ	ナナシロモミ	ナナシロモミ	ナナシロモミ	ナナ	ナナ	ナナイタヤメナナツ	ヒノキ	ナナ	ナナ	ナナシロモミ	ナナ	ナナシロモミ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>					
相対的樹高	-	+	-				+	-		Null	+				-	-					
樹高 (m)	15.5	17.3	16.5	17.9	16.9	17.5	17.1	13.2	18.7		16.1	16.7	16.9	15.8	13.8	20.2	11.4	18.5	15.1	17.1	18.8
胸高直径 (cm)	26.1	50.5	29.1	33.3	44.4	51.5	43.4	31.3	44.1		49.7	34.7	44.5	30.4	23.1	50.8	37.0	42.8	42.9	41.8	43.3
樹勢		1		1		1	1						1		1		1		2		1
樹形		2	1	1		2	1						1	1	2		2		2		1
枝の生長量		1					1								1	2		2			
梢端の枯損		2				1	1	1	1		1	1	1	1	2	1	2		2		1
落葉率							1	1				1	1	1					1		
葉の変形度																					
葉の大きさ		1														1					
葉色								1								1				1	
葉の障害状況																1			1		
ダメージクラス								1											1		
枯死前年の樹高 (m)										26											
直径 (cm)										51.8											
調査年度										2018											

樹木衰退の原因推定 18: 先折れ2箇所

備考

52(2019年枯死確認)の代替木として54を追加(2019年)

灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)

枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 大山隠岐国立公園

所在地: 鳥取県西伯郡大山町大字大山宇大休 大山国有林地内

土壌種名: 黒色土

調査実施日: 2023年7月31日、8月8日、17日、9月14日

機関名: 鳥取県農林総合研究所林業試験場

報告者名: 衣笠 尚義

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
(毎木調査番号)	C3	H10	H1	H7	H11	H4	H3	H12	C26	C25	C21	H5	I81	H2	H6	H9	M1	M2	167
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	W	W	S	S	S	N	N	N	S	N	S	S	N	W	W	E
樹種名 (和名)	ハナチヲカエデ	コシヤナラ	ナラ	キハダ	ナラカエデ	コシヤナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ						
樹種名 (学名)	<i>Acer japonicum</i>	<i>Chengiotanax sciadaphylloides</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Phellodendron amurense</i> var. <i>amurense</i>	<i>Acer nipponicum</i>	<i>Acer mitsurum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Padus grayana</i>	<i>Aria ahnifolia</i>	<i>Padus grayana</i>	<i>Acer mitsurum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>				
相対的樹高		Null	+			Null	+			Null	Null				+		+	Null	
樹高 (m)	9.8		25.8	20.8	18.3		27.0	17.5	16.8			12.8	17.8	15.0	24.0	20.3	25.8		14.0
胸高直径 (cm)	27.3		91.8	39.1	26.8		57.0	44.0	52.5			30.9	33.1	27.3	68.0	54.9	88.0		35.8
樹勢	1		1										1						
樹形	1	2018年調査で枯死を確認	1	1	1	2011年調査で枯死を確認	1	1				1	1	1	1	1		2022年調査で枯死を確認	1
枝の生長量	1		1	1	1							1	2	1			1		1
梢端の枯損			2																
落葉率																			
葉の変形度																			
葉の大きさ																			
葉色																			
葉の障害状況																			
ダメージクラス																			
枯死前年の樹高 (m)		2.3				10.2				7.2	12.2								16.1
直径 (cm)		21.1				25.5				13.8	23.1								57.0
調査年度		2017				2010				2010	2010								2021

樹木衰退の原因推定

- 1: 3番のナラによる被圧。
- 3: 上方二股の一方が枯れている、前年と大きな変化はない。
- 12: 上層木による被圧。
- 13: 上層木による被圧。
- 14: 上層木による被圧、幹曲がりが大きいため雪害に弱い。

備考

- 12, 13: 2011年度に新規追加
- 14~18: 2015年度に新規追加
- 2(2018年枯死確認)の代替木として19を追加(2019年)
- 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
- 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 歴史島国立公園(歴史島1)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林9林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2023年10月12日

機関名: 一般財団法人 鹿児島県環境技術協会

報告者名: 溝口 信彦

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5	S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	3-2	3-3	3-1			3-16	3-19	3-21	3-20		3-27	3-28	2-20	3-25		3-7	3-8	3-11	3-5	3-4
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	スギ																			
樹種名 (学名)	<i>Cryptomeria japonica</i>																			
相対的樹高									-											
樹高 (m)	31.2	31.4	29.8	29.5	29.3	19.3	19.4	18.7	14.0	19.4	20.6	22.3	17.9	20.8	20.2	22.3	29.7	26.4	29.7	29.9
胸高直径 (cm)	138.1	100.9	100.2	71.1	81.2	58.7	97.4	64.6	40.7	58.8	71.4	69.1	53.3	69.8	53.8	61.4	114.4	57.6	115.9	78.6
樹勢			1							2	2		2	1		1		1		1
樹形		1		1	1	1	1		1	2	2	1	2		1	2		2		1
枝の生長量									1	2	1		1			1		1		1
梢端の枯損										2			1							
落葉率																1				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色					1		1		1		1								1	
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定

E2、E3、E4: 隣接木(スギ)と競合している。
 E5: 下枝に葉が少ない。
 W2: 下枝に葉が少ない。茶色の葉が見られる。
 W4: 隣接木と競合している。
 W5: 枝の落下、梢端の枯損が著しい。幹に昆虫類の脱出孔が見られる。
 S1: 隣接木(スギ)に被圧されて林冠の枝葉が少ない。
 S3: 枝の落下、梢端の枯損が見られる。
 N1: 幹の先端部が折れている。
 N3: 隣接木(ヤマグルマ)との競合により枝葉が枯損。
 N5: 隣接木(スギ)と競合し枝葉が少ない。

備考

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 歴史島国立公園(歴史島2)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林3林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2023年10月11日

機関名: 一般財団法人 鹿児島県環境技術協会

報告者名: 溝口 信彦

個体番号 (毎木調査番号)	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3		W4	W5		S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5	
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W		W	W		S	S	S	S	S	N	N	N	N	N	
樹種名 (和名)	サクラツツジ	ヒサカキ	ヤブツツジ	ツカノキ	サカキ	サカキ	タイミンタチバナ	ヤブツツジ		ヤブツツジ	マテバシイ		サカキ	サカキ	サカキ	ヤブツツジ	マテバシイ	タイミンタチバナ	タイミンタチバナ	ヒサカキ	サカキ	シノモチ	ヤブツツジ
樹種名 (学名)	<i>Rhododendron tashiroi</i>	<i>Eurya japonica</i> var. <i>japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Hepptaplaurum heptaphyllum</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Mysticne seguinii</i>	<i>Actinodaphne acuminata</i>		<i>Camellia japonica</i>	<i>Libocarpus edulis</i>		<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Libocarpus edulis</i>	<i>Mysticne seguinii</i>	<i>Mysticne seguinii</i>	<i>Eurya japonica</i> var. <i>japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Ilex buergeri</i>	<i>Camellia japonica</i>	
相対的樹高	-	-	-			-			Null			Null	-				-	-	-	-	+	-	
樹高 (m)	7.6	10.8	9.3	10.9	12.4	9.3	11.2	10.3		13.9	13.4		10.2	11.0	11.1	13.0	10.1	8.8	8.8	10.8	17.5	5.7	
胸高直径 (cm)	12.2	13.3	12.5	35.1	27.7	17.4	25.6	18.1	2022年調査で枯死を確認	29.7	29.5	2015年調査で枯死を確認	21.3	12.3	21.4	23.6	17.4	13.7	9.1	14.6	62.0	8.9	
樹勢			2	1	2	1	1	1			1				1	1				1	1	1	
樹形			1	1	1	1	1	1			1				1				1			2	
枝の生長量		1	1				1	1													1		
梢端の枯損					2			1								1							
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							
枯死前年の樹高 (m)									11.2														
直径 (cm)									26.1														
調査年度									2021														

樹木衰退の原因推定 E3, E4, E5: ツル植物(サカキカズラ)に林冠部が被覆されている。
 W1, W2, W3: 隣接木(ヤマザクラ)に林冠部が被圧されている。
 W5: ツル植物(シラタマカズラ)が林冠部を被覆している。
 S3: 枝の一部が折れている。
 S4: 幹にカシノナガキクイムシの穿孔穴が見られる。
 N1, N2: 隣接木と競合している。
 N4: ツル植物(ツタ, シラタマカズラ)が被覆している。
 N5: 頂部付近に幹折れがあるが、回復している。

備考 S1(3-31)のサカキを2015年に枯死したツカノキの代替木として追加(2018年)
 W4(3-15)のマテバシイを2022年に枯死したヤブツツジの代替木として追加(2022年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 石動山

所在地: 石川県鹿島郡中能登町石動山1-1 石動山県有林

土壌種名: 適潤性褐色森林土

調査実施日: 2023年9月14日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 小倉 晃

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8-2	9	10	11	58	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ブナ	ミズナメ	イヌシデ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	イヌシデ	アカシデ	ブナ	ミズナメ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	ミズナラ	ヤブヅラ	ブナ	ブナ	ブナ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Carpinus tschonoskii</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus tschonoskii</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Cercis japonica</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高	+	+	Null	-	+			Null	-			Null	-							
樹高 (m)	30.3	35.0		22.4	31.6	25.0	24.8	25.4		18.3	21.6	20.4	26.0							
胸高直径 (cm)	42.6	57.4	2018年調査で枯死を 確認	42.2	66.5	53.1	55.7	55.7	2016年調査で枯死を 確認	30.4	40.9	33.5	60.0	2015年調査で枯死を 確認						
樹勢																				
樹形									1		1					1	1			
枝の生長量																				
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				
枯死前年の樹高 (m)			20.7						14.5					18.5						
直径 (cm)			46.5						38.1					49.7						
調査年度			2017						2015					2014						

樹木衰退の原因推定 16: 被圧のため若干勢いが弱くなっている(カシナガの痕跡は見られない、2022, 2023年調査)。
17: 下枝の折損により樹形が乱れている
方位Eは低木による遮蔽がある

備考 12の枯死にともない、58のイタヤカエデに代替した(2015年度)
8の枯死にともない、8-2のブナに代替した(2016年度)
3の枯死にともない、大円外のイタヤカエデに代替した(2018年度)
灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 宝立山

所在地: 石川県輪島市町野町寺山黒峰11甲12-1及び12-2 町野県有林

土壌種名: 弱乾性赤色土

調査実施日: 2023年9月15日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 小倉 晃

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	アカマツ	ブナ	カシ	ブナ	ブナ											
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Pinus densiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>															
相対的樹高			+	-		+	-				Null				-		-		-		+
樹高 (m)	19.1	18.1	22.2	15.3	18.4	19.7	12.7	16.5	17.4	18.3		17.1	16.8	18.6	15.3	15.6	11.2	17.3	13.6	18.0	20.3
胸高直径 (cm)	24.8	22.9	42.4	19.3	25.1	41.3	14.7	20.2	22.6	25.4		25.8	19.0	25.7	15.3	22.2	12.7	19.9	16.5	24.6	32.2
樹勢																			1		
樹形																					
枝の生長量							1								1		1		1		
梢端の枯損																					
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					
枯死前年の樹高 (m)											13.3										
直径 (cm)											24.8										
調査年度											2008										

樹木衰退の原因推定 7, 16, 18: 周囲のブナの被圧により樹高が低くなっている

備考 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 法道寺

所在地: 大阪府堺市南区鉢ヶ峰397-3 法道寺所有林

土壌種名: 黄色土

調査実施日: 2023年9月29日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 石塚、土井、村上

個体番号	S1	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W1	W2	W3	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5
(毎木調査番号)	74	79	77	106	132	105	8	122	100	129	123	125	95	93	117	88	131	91	84	51	53	113	112
方位 (E, W, S, or N)	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ツツジ																						
樹種名 (学名)	<i>Casatanopsis cuspidata</i>																						
相対的樹高	Null						Null		Null	Null													
樹高 (m)		8.0	10.7	13.8	16.9	4.0		22.9			16.5	17.1	22.8	23.5	22.3	22.6	21.5	27.0	12.7	8.5	16.0	20.7	12.4
胸高直径 (cm)		24.5	23.5	30.7	32.0	38.5		27.8			34.2	41.5	38.7	41.5	47.7	28.0	35.4	36.2	37.9	31.0	45.0	37.7	50.5
樹勢	2014年調査	2	2	1	1	3	2013年調査	1	2019年調査	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1
樹形	2014年調査	3	2	1	1	3	2013年調査	1	2019年調査	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	3	3	1	1
枝の生長量																							
梢端の枯損		3	1	1		2							3		1	1		1	2	2	1	2	2
落葉率		1	1			1														1			1
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況		1	1	1	1	3		1			1	1	1	1	1	1		1	2	2	2	1	1
ダメージクラス																							
枯死前年の樹高 (m)	9.9						7.7		12.4	14.5													
直径 (cm)	17.4						27.9		40.9	33.5													
調査年度	2013						2012		2018	2007													

樹木衰退の原因推定 台風(2018年9月4日の台風21号)による被害から回復傾向にある個体がある一方、影響が残り新たに折れた個体が見られる。
105: 幹折れ(2023年度)

備考 74, 8, 129の枯死により、79, 122, 123を追加(2016年度)
灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 天野山

所在地: 大阪府河内長野市天野町277-1 天野山府営林

土壌種名: 褐色森林土(黄色系)

調査実施日: 2023年9月22日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 石塚、土井、山本(優)、村上、齋藤

個体番号	E1	E2	E3	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	S5	W1	W2	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	54	102	103	56	104	105	34	64	69	70	35	66	81	43	77	41	80	88	89	130	47	48
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	ヒノキ																					
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																					
相対的樹高			Null			+					Null		+			+	+					+
樹高 (m)	23.5	25.0		20.8	20.8	25.7	24.1	22.9	24.1	24.3		24.5	25.1	23.6	21.3	25.1	22.8	21.4	25.8	24.9	21.8	23.6
胸高直径 (cm)	25.8	25.4	20.1	24.5	20.1	41.3	26.2	28.0	26.2	30.2		24.3	34.5	25.7	22.1	32.0	28.4	29.6	29.0	25.0	27.1	33.0
樹勢			2016年																			
樹形																						
枝の生長量			間伐により消失																			
梢端の枯損							2															
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						

枯死前年の樹高 (m)			15.9									21.3										
直径 (cm)			18.1									19.0										
調査年度			2015									2015										

樹木衰退の原因推定

備考

103, 35が間伐により消失したため、56, 66を追加(2016年度)

灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)

枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 香椎宮1

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 2023年12月26日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一, 金子 洋平

個体番号 (毎木調査番号)	2-1	3-27	3-28	3-29	3-1	3-30	2-22	2-26	2-27	3-6	3-7	3-9	3-10	3-11	3-16	3-17	2-31	3-21	3-24	3-25	3-26
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ヤマモモ	クスノキ	ホトトギス	イチイガシ	クスノキ	イチイガシ	ハゼノキ	ヤマモモ	ヤマモモ	クスノキ	ヤマモモ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	イチイガシ	ヤマモモ	スダジイ	スダジイ	スダジイ
樹種名 (学名)	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Elaeocarpus zollingeri</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Quercus acutissima</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Toxicodendron succedaneum</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>				
相対的樹高		+		Null							-							-			
樹高 (m)	15.0	19.5	15.3		15.8	16.5	15.4	13.8	13.8	18.0	10.2	13.5	13.5	13.8	13.0	15.0	18.3	13.8	18.2	18.2	18.2
胸高直径 (cm)	29.5	74.8	41.3		34.1	28.9	37.0	41.7	46.9	93.8	29.5	45.6	36.2	46.5	34.5	32.0	49.4	38.7	43.7	57.2	51.9
樹勢	1							1			1				1						
樹形																					
枝の生長量																					
梢端の枯損	1							2	1		2				1			1	1		
落葉率	1										1										
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					
枯死前年の樹高 (m)				15.0																	
直径 (cm)				18.2																	
調査年度				2005																	

樹木衰退の原因推定 2-1, 2-26, 2-27, 3-7, 3-16, 3-21, 3-24: いずれも隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損。ヤマモモに多く見られる。生育状況に問題はないと考えられる。

備考 3-29(2006年枯死)の代替木として3-1を追加(2007年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 香椎宮2

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 2023年12月26日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一, 金子 洋平

個体番号 (毎木調査番号)	1-1	2-16	3-1	3-2	3-15	1-5	2-4	3-4	3-5	3-6	1-7	2-6	2-7	2-9	3-9	1-13	1-14	2-13	2-14	3-10	2-15	3-12
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	クスノキ	クスノキ	イチイガシ	ヤブモモ	クスノキ	スダジイ	ナナミノキ	スダジイ	クスノキ	スダジイ	ヤブニツケイ	ナナミノキ	ヤブツバキ	スダジイ	スダジイ	スダジイ
樹種名 (学名)	<i>Casatanopsis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus gihua</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Casatanopsis sieboldii</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Casatanopsis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Casatanopsis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum yabunikkei</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Casatanopsis sieboldii</i>	<i>Casatanopsis sieboldii</i>	<i>Casatanopsis sieboldii</i>					
相対的樹高																	Null		-	Null		
樹高 (m)	20.0	21.5	18.5	19.0	19.0	15.0	20.5	20.5	20.5	18.5	21.0	21.5	15.5	19.5	21.5	14.8		17.5	10.1		19.0	17.0
胸高直径 (cm)	70.4	87.4	69.5	53.4	58.3	46.2	40.6	53.8	54.3	47.1	55.6	79.4	34.2	61.7	52.3	75.7		42.8	16.7		53.7	47.6
樹勢						2										2						
樹形			1			2										2		1				
枝の生長量																						
梢端の枯損			1			1				1				1		2		1				1
落葉率																1						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						
枯死前年の樹高 (m)																	16.5			16.5		
直径 (cm)																	30.8			35.2		
調査年度																	2014			2016		

樹木衰退の原因推定 3-1, 1-5, 2-9, 2-13: 強風による枝折れが影響。
3-6, 3-12: 隣接木の被圧。
1-13: 木材腐朽菌による幹の腐朽が影響。

備考 2-14: 1-14の代替木として2016年に新規追加
2-15: 3-10の代替木として2018年に新規追加
灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 古処山1

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷 (旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 2023年12月28日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一、金子 洋平

個体番号 (毎木調査番号)	2-1	2-3	2-24	3-1	3-23	2-7	2-8	3-3	3-5	3-7	3-9	3-8	3-10	3-11	3-12	3-13	1-97	2-20	3-15	3-17	3-18	3-19
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	タブノキ	シロカシ	ツツラジイ	イチイカシ	タブノキ	シロカシ	シロカシ	シロカシ	シロカシ	シロカシ	ネムノキ	ネムノキ	スギ	スギ	スギ	スギ	シロカシ	ヤブニツカイ	ツツラジイ	ツツラジイ	ツツラジイ	ツツラジイ
樹種名 (学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Cinnamomum yubankkei</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>				
相対的樹高			—								Null	Dead			—					—		Null
樹高 (m)	17.0	22.0	15.0	18.3	17.0	19.5	17.5	17.0	20.0	20.5			22.5	23.0	15.0	23.0	20.0	7.9	18.5	15.0	19.0	
胸高直径 (cm)	38.4	39.1	26.9	26.1	32.2	31.4	25.3	22.5	36.3	39.8	2012年調査で枯死を確認	2023年調査で枯死を確認	38.7	51.1	20.7	56.2	36.4	9.8	58.0	31.3	41.2	2022年調査で枯死を確認
樹勢															3							
樹形			1												3							
枝の生長量															3							
梢端の枯損			1												3							
落葉率															3							
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色															3							
葉の障害状況															3							
ダメージクラス															3							
枯死前年の樹高 (m)											16.0	16.0										13.0
直径 (cm)											24.4	27.1										30.0
調査年度											2011	2023										2021

樹木衰退の原因推定 2-24, 3-12: 隣接木の被圧
 3-7, 3-11: キツタ絡み
 1-97: テイカカズラ絡み
 3-8: 強風により倒伏
 3-19: 幹折れにより枯死

備考 3-9(2012年枯死)の代替木として3-8を追加(2013年)
 3-19(2022年枯死)の代替木として2-20を追加(2022年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 古処山2

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷 (旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 2023年12月28日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一、金子 洋平

個体番号 (毎木調査番号)	1-10	1-182	2-2	2-3	2-9	3-2	1-32	1-46	3-5	3-8	3-11	1-42	1-76	1-95	1-80	2-21	3-13	1-133	1-150	2-36	2-37	3-23
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	タブノキ	ツツラギ	タブノキ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	クスノキ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	タブノキ	タブノキ	ツツラギ	ツツラギ
樹種名 (学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>
相対的樹高		—			Null									Null							—	
樹高 (m)	17.5	16.5	16.5	16.5	2021年調査で枯死を確認	17.0	17.0	16.0	18.5	18.5	16.5	17.0	16.5	2018年調査で枯死を確認	20.0	18.5	18.5	16.5	16.0	16.5	15.5	17.5
胸高直径 (cm)	38.1	17.4	22.4	30.6	2021年調査で枯死を確認	38.6	34.0	27.3	30.6	27.9	25.0	37.1	22.4	2018年調査で枯死を確認	31.0	43.0	32.3	37.2	27.4	29.3	13.9	42.1
樹勢								1														
樹形																					1	
枝の生長量																						
梢端の枯損		1																				
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						
枯死前年の樹高 (m)					16.0									14.5								
直径 (cm)					26.3									36.8								
調査年度					2020									2017								

樹木衰退の原因推定 1-182, 2-37: 隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損、または若干の樹形の乱れ。
1-46: 強風による枝折れが影響。生育状況に問題はないと考えられる。

備考 1-95(2018年枯死確認)の代替木として1-80を追加(2019年)
2-9(2021年枯死確認)の代替木として3-2を追加(2021年)
灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 伊自良湖

所在地: 岐阜県山県市長滝釜ヶ谷27-2

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2023年9月25日

機関名: 岐阜県森林研究所

報告者名: 久田 善純

個体番号	1	2	3	3-2	4	5	5-2	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	18-2	19	20
(毎木調査番号)	124		9	53		23	6	120	119	118		80				136	94	69	70		131		147
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ヒノキ	スギ	ヒノキ																				
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																				
相対的樹高			Null	-	-	Null		+	+											Null			
樹高 (m)	16.2	15.1		17.7	12.9		16.9	19.6	20.3	18.0	17.3	16.2	18.2	16.3	16.2	18.6	17.9	13.9	15.6		18.4	13.8	13.8
胸高直径 (cm)	23.9	16.8		18.5	15.7		19.4	26.3	28.6	23.6	18.5	19.6	16.7	16.3	17.0	22.8	21.2	22.4	17.5		25.6	12.4	18.4
樹勢			2007年			2007年														2020年		1	1
樹形	1	1	間伐により消失		1		1		1	1		1	1	1	1	1	1	1	1			1	1
枝の生長量																							
梢端の枯損																							
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							
枯死前年の樹高 (m)			9.7			不明														12.6			
直径 (cm)			12.3			不明														11.4			
調査年度			2006			2006														2019			

樹木衰退の原因推定 1, 2, 4, 5-2, 8, 11, 12, 14, 15, 17: 幹曲がり
 7: 梢端二股
 10: 幹曲がり及び梢端折れ
 13: 幹曲がり及び二股
 16: 梢端折れの跡あり
 19: 周囲木からの被圧及び幹曲がり
 20: 周囲木からの被圧、幹曲がり、二股、虫害跡(幹傷)

備考 3(2007年間伐)の代替木として3-2を追加(2007年)
 5(2007年枯死)の代替木として5-2を追加(2007年)
 18(2020年枯死)の代替木として18-2を追加(2021年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 大和

所在地: 岐阜県郡上市大和町古道足代山1270-1

土壌種名: 黒ボク土

調査実施日: 2023年9月22日

機関名: 岐阜県森林研究所

報告者名: 久田 善純

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	5-2	6	6-2	7	7-2	8	9	9-2	10	10-2	11	11-2	12	12-2	12-3	13	13-2	14	14-2	15	16	16-2	17	18	18-2	19	19-2	20				
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	W				
樹種名 (和名)	ヒノキ	ヒノキ																																			
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																																				
相対的樹高	+				Null	-	Null	+	Null		+	Null		Null		Null		Null		-	Null		Null		-												
樹高 (m)	33.5	29.9	32.0	30.3		28.3		32.4		30.7	33.0			31.6		28.9		29.6				26.6		32.3			29.0	30.0		29.5	29.0		32.0		32.2	27.3	
胸高直径 (cm)	41.1	40.5	45.6	45.3		31.6		46.9		42.8	38.8			42.4		44.6		35.1		2011年調査で枯死を確認		2011年調査で枯死を確認		33.7		50.5		36.9	45.1		36.5	35.6		48.7		48.3	35.3
樹勢					2018年調査で枯死を確認				2016年調査で枯死を確認				2016年調査で枯死を確認				2011年調査で枯死を確認		2011年調査で枯死を確認			2011年調査で枯死を確認				2018年調査で枯死を確認			2016年調査で枯死を確認			2016年調査で枯死を確認			2011年調査で枯死を確認		
樹形						1					1			1			1				1									1					1		
枝の生長量		1																																			
梢端の枯損																																					
落葉率																																					
葉の変形度																																					
葉の大きさ																																					
葉色																																					
葉の障害状況																																					
ダメージクラス																																					
枯死前年の樹高 (m)					31.2		32.0		28.4			30.1		31.6		23.7		26.3	30.0			24.9		26.1			30.2			29.7		30.4					
直径 (cm)					42.6		46.1		38.5			41.7		39.5		31.5		30.8	44.5			31.2		32.4			33.4			44.6		40.4					
調査年度					2017		2019		2015			2015		2017		2010		2010	2015			2010		2007			2017			2015		2015					

樹木衰退の原因推定
 5-2, 9-2: 片枝
 8, 12-3: 幹曲がり及び梢端折れ
 11-2: 梢端二股, 斜立
 13-2: 梢端折れ
 17: 幹曲がり及び片枝
 18-2: 幹に傷 (虫害)
 20: 斜立, 片枝

備考
 14(2008年雪害による幹折れ)の代替木として14-2を追加(2010年)
 11(2011年幹折れ)の代替木として11-2を追加(2011年)
 12(2011年幹曲がり)の代替木として12-2を追加(2011年)
 13(2011年枯死)の代替木として13-2を追加(2011年)
 7, 9, 12-2, 18, 19(2016年間伐)の代替木として7-2, 9-2, 12-3, 18-2, 19-2を追加(2016年)
 5, 10, 16(2018年台風による倒伏)の代替木として5-2, 10-2, 16-2を追加(2019年)
 6(2021年雪害によるの幹折れ)の代替木として6-2(大円外)を追加(2021年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認, Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため, 枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した